

埼玉県代表・U-14強化指定選手 選考基準

- ①埼玉県の代表として相応しい、自覚・態度・行動・礼節を備えている。
(あいさつ・返事・学校生活において素行のよい生徒・コミュニケーション能力等)
- ②本人、保護者ともに、一般社団法人埼玉県ジュニアバスケットボール連盟の活動を理解し、協力できる家庭
- ③全国の頂点を目指し、日本一に近いレベルを持っている。
- ④「ボールコントロール」「ボディコントロール」「セルフコントロール」の三つがバランスよく備わっている。
※本件選考にあたり埼玉県選考委員が責任を持って行うが、他団体(日本バスケットボール協会)より正式に埼玉県バスケットボール協会に推薦要請があった場合、その選手は考慮する。
- ⑤マンツーマンでのオフェンス・ディフェンス力を基準とする。
- ⑥ポジション別選考基準

『ガード：1番・2番』

- | |
|---|
| A：ゲームメイク・ゲームコントロールに優れている。プレスDFへの突破力が高い。 |
| B：外角のシュートを備えている。ファウルを貰いに行ける力がある。 |
| C：広い視野を持ち、パスセンスに優れている。ボールを持ちすぎない。 |
| D：オールコートに渡るスタミナ・ディフェンス力を持っている。 |
| E：ドリブルワークに優れ突破力があり、ボールを失うことなく、キープできる。 |

『フォワード：3番・4番』

- | |
|--|
| A：速攻の一線を走る「走力」を備えている。 |
| B：内外角にわたる、幅広い得点力(3ポイントの成功率が高い)を備えている。 |
| C：オフェンス及びディフェンスのリバウンド力に優れている。 |
| D：内外角のディフェンス力が高い。(インサイド、アウトサイドの両方を守ることができる)
特に相手のポイントゲッターを抑える力がある(エースキラー) |
| E：パスのセンスにも優れパスゲームを意識した走りができる。ドリブルの持ち過ぎが無い |

『センター：5番(4番)』

- | |
|--|
| A：オフェンス及びディフェンスのリバウンドへ献身的、持久的に飛び込める。 |
| B：ゴール下はもとより、ペイントエリアでの得点力が高い。 |
| C：走ることができ、ボールハンドリングが良い。 |
| D：身体接触を嫌がらず、あたり負けしない。シュートブロックが積極的にできる。 |
| E：オフェンス、ディフェンスともにポジション取りに優れている。 |

以上がスキルの参考基準であるが、バスケットボールという競技は、「合わせ」「読み」「間」「呼吸」「見極め」といった感覚的なもの(感性)や経験も重要な要素である。

年度によっては、補強したいポジションや優秀な選手が偏るポジション等が出ることが考えられる。その場合は、選考基準レベルも若干変動する。

埼玉県の場合、選考会が12月であるが、ジュニアオールスターの大会(3月)や練習会(1.2.3月)があるため、それまでの期間各チーム内で、成長できるかといったことなども考慮に入れなければならない。(今後、埼玉ジュニアキャンプ事業により解決していくU13、U14)

全ての基準を普通にできる選手と、多少劣る基準はあるが項目によっては、ずば抜けたレベルを持つ選手の選考は、その年度の選手構成や他の都道府県レベル、全国レベルを鑑み決定する。

尚、秋季ジュニア大会、新人戦等も参考にして選手選考を行うものとする。